

市民秋山兼 35 周年記念登山 トレーニング 感想文

○甘南備山から JR 河内磐船へ

後藤正道

今年の山行きはどこへ行っても「雨にもめげず」せっかく登っても景色も楽しめない、思い出になりにくい、ぱあっと晴れない嫌な年だと思っていた。が、秋山トレーニングとなるとなんだか様子が変わってきた。

伊吹山でも、武奈ヶ岳でも雨でなく、眺めもほどほどに楽しめるという「なんと・すてきにハッピー」な秋山トレではなかったか。

今日は秋山トレの最後の日だ。朝起きると「真っ蒼」ではない。「真っ青」の雲ひとつない。これぞ日本晴という気持ちのいいやつだと思いつつ行程1時間をみて8時に出発した。10分前に甘南備神社に着いてみるとお～私が一番遅い集合ではないか。今日のSLだろ、もっと早く来なくちゃとたしなめられる始末であった。



今日は皆さん徒歩での集合のためウォーミングアップは既にできており、早々に出発。甘南備山を西へ、南に向きを変え大尽池の横をぬけ R307BP を横切り枚方市域の旧 R307・尊延寺バス停へ出てきた。

そこからが大変、枚方市尊延寺なんとか丁目の表示があるが、狭くて「くるくる廻し」の道を進む。地図を見ていると「こんなところ現在どこなのか」わかるはずがない。よくも間違いもせず「こっち、あっちよ～」とよく覚えているもんだと感心しました。吾輩は何度来てもまず無理だから一人では来ないよと思いつつ進むと、山砂地の荒れた沢筋には倒木が目立つ。昨年も、今年もだよ。

急な階段を登ると国見山に着いたよ。ここから交野 CC のトンネルを抜け白旗池まで来ると「いつか来た道」とわかった。昼食のあと「交野いきものふれあいの里」を後に、ややこしい地名・私部、傍示という所から、土生川上流の巨岩群の「八丈岩」は初めて知るところとなった。この丘陵は表（大阪）は荒く、裏（奈良）はなだらかで全く異なる地形をなしていると思える。

今日の感想だが、結構歩いたよ。このルートは厳しいところあるし3万歩を超えている。だけど雨の日はちょっと嫌だね。と思う。なんたってビールさえ飲まなかったら松井山手まで JR200 円と費用が掛かからないのはいいねえ。まるまるビール代でした。

○ 感想

若林憲治

田辺山行会に入会して1年11ヶ月 会のシンボル山でも有る『甘南備山』に今回 初登山。好天に恵まれて歩き登山を目指すも 京田辺駅より 一時間要す事が判明 タクシーにて登山口まで移動する事に成った、幸い 登山口には山下リーダーがおられ 一緒に 甘南備山



を目指す。山頂には早い時間にも関わらず数名の方が待機しておられた。

行動スケジュールに添い9:00 出発 里山の雰囲気を残したコースを歩き、新興住宅地も歩き 山中コースも雨による影響かルートが寸断された箇所が数か所あり、良くも複雑で目印も少ないコース案内をして頂いた リーダーには改めて敬服。

今回のコースで驚いたのは『八丈岩』 近辺の岩場であった。今回のコースは初めてであり 地元でこんなにも変化にとんだ場所が有る事に正直 驚いた次第。自分の万歩計も、3万歩をクリアしていたので15km程歩いたのでは思われる。近場での初山歩きを知り得、満足感と心地よい疲労感を感じつつ コンビニで飲料水を飲んで喉を癒すも、マイカーで京田辺迄移動した事が悔やまれる一日であった。お疲れ様でした。